

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 パウダーテック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5695 URL https://www.powder-tech.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 憲行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 倉持 正一 (TEL) 04-7145-5751  
管理本部長  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,412	△9.2	336	△54.1	385	△48.7	241	△53.1
2023年3月期第3四半期	7,066	6.2	733	△20.7	751	△19.5	515	△18.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 252百万円(△53.9%) 2023年3月期第3四半期 547百万円(△13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	83.39	—
2023年3月期第3四半期	177.92	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,025	12,673	84.3
2023年3月期	14,742	12,653	85.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,673百万円 2023年3月期 12,653百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	8,500	△3.8	450	△35.7	500	△32.5	340	△37.5	117.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	2,970,000株	2023年3月期	2,970,000株
2024年3月期3Q	73,040株	2023年3月期	72,920株
2024年3月期3Q	2,897,016株	2023年3月期3Q	2,897,128株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に加えて、中東情勢が緊迫化し、地政学リスクの高まりとともに、資源価格を始めとする物価の先行きに一層不透明感が増しています。米国では利上げはピークを迎えたと見られ、雇用状況は良好かつ株式相場も高水準で推移するなど、総じて経済は堅調でした。欧州では長引くインフレがようやく鈍化し、利上げも停止したものの、依然として景気は弱含みで推移しました。中国ではゼロコロナ政策の解除後、サービス消費は堅調な一方、不動産市況の低迷は続き、デフレの兆しもみえるなど景気の回復ペースは力強さを欠いています。日本では物価上昇は続いているものの、個人消費を中心に緩やかな回復傾向を示しました。

当社の主力製品である電子写真用キャリアの需要は、経済活動やオフィス稼働率の回復はあったものの、流通在庫の調整影響が残り、引き続き軟調となりました。一方、販売価格の適正化は浸透し、単価は改善しつつあります。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤の需要は回復基調にあったものの、製造子会社である株式会社ワンダーキープ高萩の高萩工場にて2023年11月17日に発生した火災により、同社の製造ラインの一部が停止する事態となりました。

このような市場環境下、当期の売上高は、キャリアと脱酸素剤の減販、2022年9月をもって販売を終了した鉄粉関連製品の影響により、6,412百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

損益面では、主に機能性材料事業の減益により、営業利益は336百万円（前年同期比54.1%減）、経常利益は385百万円（前年同期比48.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は241百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「鉄粉事業」としていた報告セグメントの名称を、鉄粉関連製品の販売からの撤退に伴い取扱製品が脱酸素剤関連製品となったことおよび食品市場以外の幅広い分野への展開も進めており、事業内容をより適切に表現するために「品質保持剤事業」に変更いたしました。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント業績に与える影響はありません。

#### ① 機能性材料事業

当セグメントにおきましては、電子写真用キャリアはエネルギーおよび原材料価格の値上がりによる販売価格の適正化を進めたことと、新規機能性材料の増販はありましたが、流通在庫の調整影響が残ったこともあってキャリアの販売数量が減少し、売上高は5,539百万円（前年同期比7.0%減）となりました。セグメント利益は、主にキャリアの減販により676百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

#### ② 品質保持剤事業

当セグメントにおきましては、鉄粉関連製品の販売を2022年9月末にて終了したこと、脱酸素剤が工場火災により製造ラインの一部を停止したこともあり、当セグメント全体の売上高は873百万円（前年同期比21.1%減）と大きく減少いたしました。セグメント利益は、火災に伴う減販が生じたことに加え、原材料価格および人件費が販売価格の適正化の効果以上に上昇したこともあり10百万円（前年同期比89.7%減）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、主に電子記録債権及び棚卸資産の増加により、531百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却等により248百万円減少いたしました。以上により、総資産は283百万円増加し15,025百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金の増加により、262百万円増加し2,351百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い231百万円、四半期純利益241百万円などにより、20百万円増加し12,673百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5%減少し84.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年11月13日に発表しました業績予想の修正を行っております。詳しくは本日付けの「2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	448,400	398,774
受取手形	9,535	9,763
売掛金	848,709	972,270
電子記録債権	784,900	1,354,794
商品及び製品	1,336,108	1,358,218
仕掛品	1,126,232	1,129,298
原材料及び貯蔵品	437,391	678,320
預け金	2,702,081	2,337,722
その他	38,737	24,807
貸倒引当金	△862	△929
流動資産合計	7,731,234	8,263,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,384,901	6,394,892
減価償却累計額	△3,341,274	△3,445,029
建物及び構築物（純額）	3,043,626	2,949,862
機械装置及び運搬具	12,215,135	12,282,289
減価償却累計額	△10,534,571	△10,809,879
機械装置及び運搬具（純額）	1,680,563	1,472,409
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	40,887	44,662
減価償却累計額	△26,096	△28,793
リース資産（純額）	14,791	15,868
建設仮勘定	37,191	88,266
その他	757,895	769,904
減価償却累計額	△650,026	△671,014
その他（純額）	107,868	98,890
有形固定資産合計	6,744,239	6,485,496
無形固定資産		
その他	18,468	15,960
無形固定資産合計	18,468	15,960
投資その他の資産		
繰延税金資産	219,927	232,056
その他	29,821	30,487
貸倒引当金	△1,552	△1,552
投資その他の資産合計	248,196	260,991
固定資産合計	7,010,904	6,762,448
資産合計	14,742,138	15,025,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	812,113	1,069,341
リース債務	3,106	3,701
未払金	468,333	473,245
未払法人税等	33,833	75,946
未払事業所税	22,794	17,270
未払消費税等	48,762	49,756
賞与引当金	207,944	105,971
その他	95,925	168,911
流動負債合計	1,692,814	1,964,143
固定負債		
リース債務	11,807	12,417
退職給付に係る負債	384,139	374,056
その他	-	1,000
固定負債合計	395,947	387,473
負債合計	2,088,761	2,351,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	9,730,516	9,740,239
自己株式	△203,349	△203,641
株主資本合計	12,650,166	12,659,598
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,210	14,274
その他の包括利益累計額合計	3,210	14,274
純資産合計	12,653,377	12,673,872
負債純資産合計	14,742,138	15,025,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,066,034	6,412,800
売上原価	5,106,575	4,865,998
売上総利益	1,959,459	1,546,801
販売費及び一般管理費	1,226,099	1,210,277
営業利益	733,359	336,524
営業外収益		
受取利息	4,015	4,587
為替差益	6,859	7,065
受取設備負担金	11,391	-
子会社清算益	4,148	-
助成金収入	-	39,920
その他	4,936	5,035
営業外収益合計	31,351	56,609
営業外費用		
支払利息	162	211
債権売却損	11,099	5,921
その他	2,377	1,394
営業外費用合計	13,639	7,527
経常利益	751,071	385,605
特別利益		
紹介手数料	40,000	-
特別利益合計	40,000	-
特別損失		
固定資産処分損	32,530	4,186
災害による損失	-	22,715
特別損失合計	32,530	26,901
税金等調整前四半期純利益	758,540	358,704
法人税等	243,097	117,134
四半期純利益	515,443	241,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	515,443	241,570

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	515,443	241,570
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	32,368	11,063
その他の包括利益合計	32,368	11,063
四半期包括利益	547,811	252,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	547,811	252,634

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	品質保持剤 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,958,355	1,107,678	7,066,034	—	7,066,034
外部顧客への売上高	5,958,355	1,107,678	7,066,034	—	7,066,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,958,355	1,107,678	7,066,034	—	7,066,034
セグメント利益	971,028	103,900	1,074,928	△341,569	733,359

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△341,569千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△341,527千円及び棚卸資産の調整額△42千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	機能性材料 事業	品質保持剤 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,539,379	873,421	6,412,800	—	6,412,800
外部顧客への売上高	5,539,379	873,421	6,412,800	—	6,412,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,539,379	873,421	6,412,800	—	6,412,800
セグメント利益	676,091	10,659	686,750	△350,226	336,524

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△350,226千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△350,667千円及び棚卸資産の調整額441千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、「鉄粉事業」としていた報告セグメントの名称を、鉄粉関連製品の販売からの撤退に伴い取扱製品が脱酸素剤関連製品となったこと、及び食品市場以外の幅広い分野への展開も進めていることにより、事業内容をより適切に表現するために「品質保持剤事業」に変更いたしました。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。